第103期　建設ディレクター育成講座カリキュラム【eラーニング + LIVE配信講座】

企　画：一般社団法人建設ディレクター協会（資格認定）
運　営：京都サンダー株式会社
期　間：2026年3月9日（月 ）～4月24日（金）
試験日：2026年7月13日（月）10:30～12:00　※講習期間外

講義形式：オンデマンド／双方向LIVE配信講座
講義時間：オンデマンド標準学習時間 29時間／双方向LIVE配信時間 6時間 ／合計35時間
※オンデマンドで理論を視聴後、ZOOMを使用したLIVE講習で演習をします。
実施場所：受講生が勤務する会社他　受講料：34万1千円（内訳：受講料33万円、受験手数料1万1千円）

NO.	テ　ー　マ	内　　容	オンデマンド配信期間	標準学習時間	LIVE配信日程	LIVE講習時間	
1	建設業マネジメントⅠ	新しい職域建設ディレクターとは、建設ディレクターに必要な５つのスキル	3月9日（月）～4月24日（金）	3.5h	―		
		技術者の業務と建設ディレクターの必要性、業務効率化					
		導入と定着に必要なこと（意識改革、連携体制、IT環境）事例紹介					
2	建設基礎Ⅰ	社会の動きと高まる建設業の需要、社会的役割		3h	―		
		現場代理人の仕事とは（施工管理、技術的な監修、組織管理、発注者対応、設計変更業務、工事成績等）					
3	建設基礎Ⅱ	建設工事と施工管理（施工計画・工程・品質、出来形理・原価・安全管理・環境保全）		2.5h	3月13日（金）	9:00～12:00	3h
		施工管理の3大管理と相互関係					
		工程管理・安全管理・環境管理演習（LIVE）					
4	建設業マネジメントⅡ	建設業に求められる組織作り（チームビルディング）		2h	4月10日（金）	9:00～12:00	3h
		組織作りに必要な専門知識（コーチング、アンガーマネジメント、パラダイム）					
		コーチング、アンガーマネジメント、パラダイム演習（LIVE）					
5	工事書類Ⅰ	建設現場とは、工事書類とその必要性		5h	―		
		着手前、施工中、竣工プロセスのフローと必要な書類と作成の手法					
		工事写真の必要性、写真整理のフロー、クラウドによるデータ管理					
6	工事書類Ⅱ	電子納品、電子納品に付随するデジタル知識、電子納品ソフトの活用		3h	―		
		共通仕様書、デジタル写真管理基準、CADソフトを使う上での注意点					
		BIM/CIMの電子納品					
7	入札と積算	建設業許可、経営事項審査		6h	―		
		入札参加、総合評価、工事成績					
		積算とは、積算基準について、積算演習、積算ソフトの活用					
8	建設ICT活用	建設DXとは、電子黒板・遠隔臨場・ASP		4h	―		
		ICT活用の流れ（三次元起工測量、三次元設計、ICT建機による施工、出来形ヒートマップ等）					
		ICT導入マネジメントの手法（3次元設計、ドローン、AI技術）					
		BIM/CIMの活用の流れ、標準的なプロセス（基準要領・義務・推奨項目、モデル詳細度等）					

講習期間外

テスト	建設ディレクター試験	**2026年7月13日（月）10:30～12:00**